

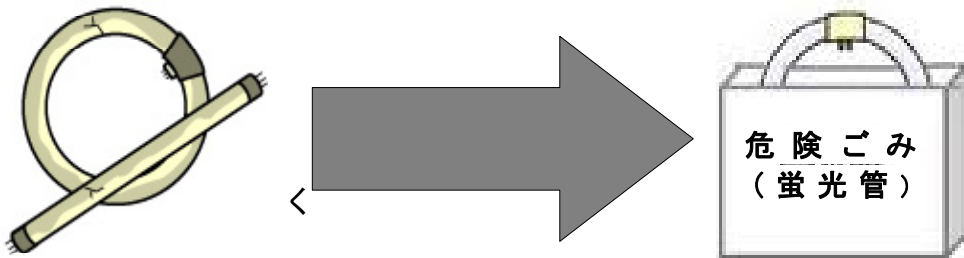
危険ごみは、以下の方法で排出して下さい。

飛散防止の梱包をして透明、半透明の袋（買物袋可）に入れ、指定日にごみステーションに出して下さい。なお、袋には「危険ごみ」であることと中に入っている物が分かるようにマジック等で書いて下さい。

記載例：危険ごみ（電池）

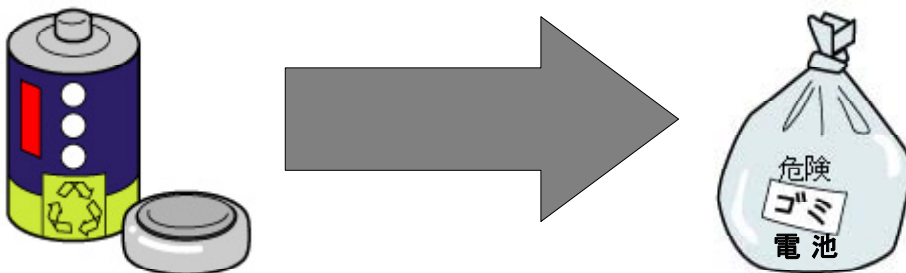
スプレー缶・ガスボンベ缶・ライターについては、収集車や施設の火災事故を防ぐため中味を使い切り、必ずガス抜きを行って下さい。また、ライターとスプレー缶類を一つの袋に入れますと引火の恐れがあり大変危険です。危険ごみは必ず種類ごとに分けて出してください。

① 使用済み蛍光管



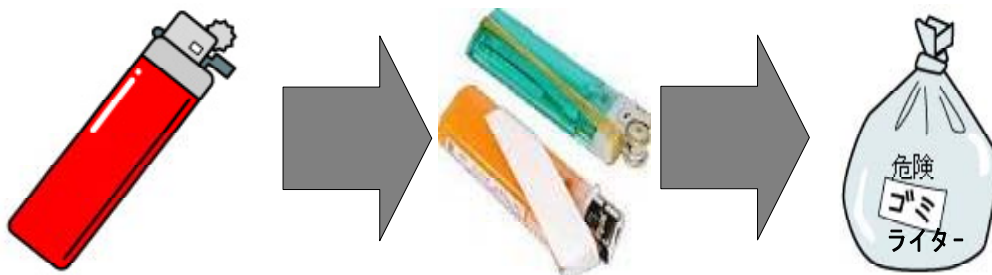
専用の箱又は、新聞紙などで包装して、破損しないようにし『危険ごみ(蛍光管)』と書いて出して下さい。

② 使用済み乾電池



使用済み乾電池だけを入れて『危険ごみ(電池)』と書いて出して下さい。

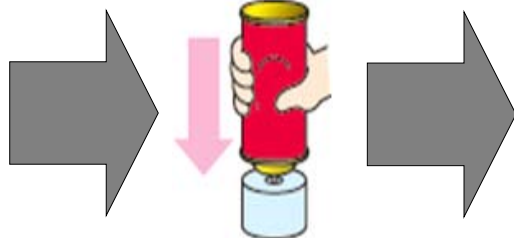
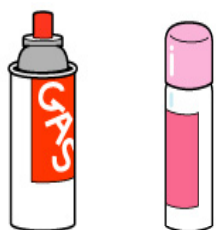
③ 使用済みライター



ライターだけを入れて『危険ごみ(ライター)』と書いて出して下さい。

風通しのよい屋外で必ず
ガス抜きをしてから

④ 使用済みスプレー缶及びガスボンベ缶

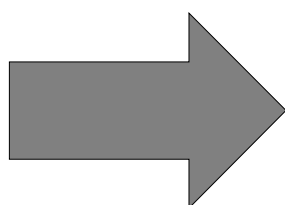
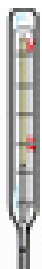


風通しのよい屋外で必ず
ガス抜きをしてから



スプレー缶類
だけを入れて
危険ごみ（スプレー缶）』と書いて出
して下さい。

⑤ 体温計（水銀含有物）



水銀式体温計だけを入れ
新聞紙などで包装して、
飛散しないようにし『危険ごみ（体温計）』と書いて出して
下さい。